

報道配布資料

平成23年(2011年)10月3日

所属名	所属長名	部局長等名	担当者氏名	連絡先
山口県立大学	学長 えさと けんすけ 江里 健輔	国際文化学部長 いわのまさこ 岩野雅子	国際文化学科 やすのはやみ 安野早己	(学部事務室) 083-928-3423 (安野研究室) 083-928-5493
発表内容の 関係地域	[<u>全県</u>]、岩国、柳井、周南、[<u>山口</u>]、防府、宇部、山陽小野田、下関、長門、萩 首都圏			

1 件名

東日本大震災とその後を考える

「震災ボランティア報告会」及び「国際文化学部客員教授講演会」の開催について

2 プログラム

- 「震災ボランティア報告会」
国際文化学部生・社会福祉学部生による活動報告とディスカッション
- 「国際文化学部客員教授講演会」
テーマ『災害後の生活文化復興とアーツマネジメント』

3 概要

3月11日の東日本大震災から半年。「震災ボランティア報告会」では、国際文化学部と社会福祉学部からそれぞれの学生たちが考え、行動し、現場で学んだことを報告する会を開催し、今後につなげるためのディスカッションを行います。また、「国際文化学部客員教授講演会」では災害復興の一つとして生活文化の復興をテーマに、人々の心の復興に焦点を当て、芸術文化の果たす役割について考えます。

4 日程・内容等

(1) 「震災ボランティア報告会」

日時：平成23年10月6日(木) 18時から20時

会場：山口県立大学本館(A32教室)

内容等：別添チラシのとおり [申し込み不要]

(2) 「国際文化学部客員教授講演会」

日時：平成23年10月27日(木) 16時10分から17時40分

会場：山口県立大学6号館(F204教室)

内容等：別添チラシのとおり [申し込み不要]

5 問い合わせ先：山口県立大学国際文化学部

〒753-8502 山口県山口市桜島3丁目2-1

TEL：083-928-3423 / 5493



公立大学法人

山口県立大学

Yamaguchi Prefectural University

震災ボランティア報告会

3月11日の東日本大震災以降、学生として何が出来るか考え、準備を重ね、復興支援ボランティアに行ってきました。その経緯と活動内容を報告し、さらに何が出来るのかについて、活動を支えて下さった方々を交えて話し合います。

日時：2011年10月6日(木)18時～20時

場所：A32教室（本館3階）

プログラム：

18:00～18:30 国際文化学科「地域実習」履修生15名による気仙沼市など

での活動報告

18:30～19:00 社会福祉学科“ぶちボラ YP 勇気”

による支援活動報告

19:00～20:00 ディスカッション



ぜひお越しください！

問合わせ先：国際文化学部事務室（内線 3423）
社会福祉学部事務室（内線 4780）

2011 年度 国際文化学部 客員教授講演会

大阪市立大学大学院 教授 中川 真

災害後の生活文化復興とアーツマネジメント

日時：2011年10月27日（木） 午後4時10分～5時40分

場所：山口県立大学 6号館（新キャンパス）F204号教室

主催：山口県立大学 国際文化学部

アーツマネジメントは、アートを社会につなげる仕事ですが、その役割が大きく変わろうとしています。コミュニティのもっている問題の解決のために、アーツマネジメントが用いられようとしているのです。本講演では災害からの復興という課題に焦点をあて、近年のインドネシアや東北の被災現場を事例として、生活文化を取り戻すことの大切さ、またその際にアートの果たすことのできる役割について話されます。

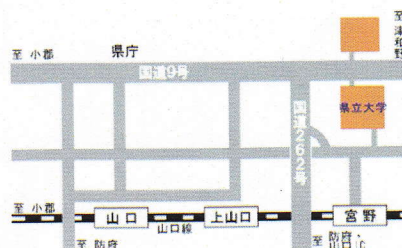
皆様お誘い合わせの上ご来場ください。



ガムランエイドによるジャワ震災復興支援イベント（ジョグジャカルタ）

講師プロフィール：音楽学者としてアジアの民族音楽、サウンドスケープ、サウンドアートを研究するかたわら、ガムラングループ〈マルガサリ〉を主宰し、国の内外で公演を重ねる。『平安京 音の宇宙』でサントリー学芸賞、京都音楽賞等、また、現代音楽の企画で京都府文化賞を受賞。『小さな音風景へ』、『サウンドアートのトポス』等の研究書のほか、小説『サワサワ』を上梓、船場アートカフェのプロデューサーとしてアートによる社会包摂に取り組み、日本都市計画家協会賞を受賞している。大阪市立大学大学院文学研究科教授。チュラロンコン大学（タイ）、インドネシア芸術大学客員教授。

↓ 会場 国道9号線北側 坂上左建物6号館2階



問い合わせ先：〒753-8502 山口桜島 3-2-1 山口県立大学 国際文化学部事務室 電話：083-928-3423